

【IV】 禁忌・禁止及び使用上の注意事項について

(家庭用赤外線及び紫外線治療器、家庭用温熱治療器)

	家庭用電気治療器	家庭用電気治療器
一般的名称	家庭用赤外線治療器 家庭用紫外線治療器	家庭用温熱治療器
禁忌・禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・光源を直視しないでください。 ・新生児には使用しないでください。 	×
使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・身体に異常を感じたときには、使用を直ちに中止してください。 ・今までに日光及びその他の光線によって、発赤、かゆみなどを起こしたことのある方は使用しないでください。 ・使用によって発赤、腫脹などがあらわれた場合は、使用を中止し医師に相談してください。 ・治療部位ごとの適切な光源との距離及び治療時間の明記並びに定められた治療時間を超えないでください。 ・浴室等の湿度の高いところでは使用しないでください。 ・機器に故障が発見された場合は、使用を直ちに中止し、電源を切ってください。 ・停電のときは、直ちに電源を切り、操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻してください。 ・機器は、改造しないでください。 ・他の治療器と同時に使用しないでください。 <p>(1) 使用環境および使用条件</p> <p>1) 浴室など湿気の多い所、水のかかりやすい所での使用は危険ですので絶対しないでください。</p>	<p>(1) 次の人は、医師と相談の上、ご使用ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 悪性腫瘍のある人 2) 心臓に障害のある人 3) 温度感覚喪失が認められる人 4) 妊娠初期の不安定期または出産直後の人 5) 糖尿病などによる高度な抹消循環障害による知覚障害のある人 6) 安静を必要とする人 7) 体温 38℃以上(有熱期)の人。 例1. 急性炎症症状[けん(倦)怠感, 悪寒, 血圧変動など]の強い時期。 例2. 衰弱しているとき。 8) 脊椎の骨折, ねんざ, 肉離れなど急性疾患の人 9) 低温やけどをしたことのある人 10) 次の人で, 1時間を超えて使用する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・高血圧の人 ・不整脈のある人 ・睡眠時無呼吸症の人

<p>2) 他の治療器との同時使用はしないでください。</p> <p>3) 乳幼児や身体の不自由な方には、付き添いなしでは使用しないでください。</p> <p>4) 治療目的以外には使用しないでください。</p> <p>5) しばらく使用しても、効果が現れない場合、医師又は専門家に相談してください。</p> <p>(2) 使用前の注意事項</p> <p>1) しばらく使用しなかった時には、もう一度取扱説明書をよく読み、正常に作動するか確認してからご使用ください。</p> <p>2) アースを正しく接続してください。(アース端子を持つ機器の場合)</p> <p>3) すべてのコードは容易に離脱しないよう、正しく確実に接続してください。</p> <p>4) 操作つまみ、ダイヤル、スイッチ、タイマーなどが正しく作動するか確認してください。</p> <p>5) 付属品は、規定されたもの、又は指定されたものを使用してください。</p> <p>6) 機器は主として医師の指導の下に使用してください。</p> <p>7) 次の人はご使用前に医師に相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪性しゅよう(腫瘍)(特に皮膚がん)のある人 ・心臓に障害のある人 ・温度感覚喪失が認められる人 ・妊娠初期の不安定期又は出産直後の人 ・糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 ・安静を必要とする人 ・体温 38℃以上(有熱期)の人 	<p>・喘息の人</p> <p>11) 子供には使用させない。 (保護者又は専門の監視下で使用する場合はその限りではない)</p> <p>(2) 使用環境および使用条件</p> <p>1) 浴室など湿気が多い所、水のかかりやすい所での使用は危険ですのでおやめください。</p> <p>2) 低温やけどの恐れがありますので、睡眠薬等を服用した人、酩酊状態の人は使用しないでください。</p> <p>3) 身体の自由が利かない人、幼児には使用させないでください。</p> <p>4) 治療目的以外には使用しないでください。</p> <p>5) 他の治療器と同時には使用しないでください。</p> <p>6) しばらく使用しても、効果が現れない場合、医師又は専門家に相談してください。</p> <p>7) 本体にピンや針を刺したり、刃物で傷つけたりしないでください。</p> <p>8) 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。</p> <p>9) 電源コードや差込プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。</p> <p>(3) 使用前の注意事項</p> <p>1) しばらく使用しなかった時には、もう一度取扱説明書をよく読み、正常に、かつ安全に作動するか確認してからご使用くださ</p>
--	--

- ・せきつい（脊椎）の骨折，ねんざ（捻挫），肉離れなど，急性[とう（疼）痛性]疾患の人
- ・肺結核，心疾患・腎疾患患者，急性皮膚炎，甲状腺機能亢進症，こう（膠）原病（全身性エリテマトーデスなど），ポリフィリン症，放射線療法を受けている患者など紫外線による過敏・過剰反応の影響が考えられる人
- ・皮膚に感染症又は創傷のある人
- ・光線照射によって過敏症を誘発する医薬品を服用している人
- ・化粧品，消毒剤などでかぶれたことのある人

(3) 使用中の注意事項

- 1) 使用中に身体の異常を感じたら，直ちに使用を中止し，医師もしくは弊社〇〇〇〇までご連絡ください。
- 2) 機器に異常又は故障がある場合，すぐ使用を中止し，電源を切り弊社〇〇〇〇までご連絡ください
- 3) 停電のときは直ちに電源を切り，操作つまみ，ダイヤル，スイッチなどを元の位置に戻してください。
- 4) 光源を直視しないでください。
- 5) 定められた治療時間を超えて使用しないでください。
- 6) 治療部位ごとの適切な光源との距離を守ってご使用ください。
- 7) 高温部にふれないでください。
- 8) 使用しても，効果が現れない場合，医師又は専門家に相談してください。
- 9) 使用中に発赤，腫脹などがあらわれた場合は，使用を中止し医師に相談してください。

い。

- 2) すべてのコードは容易に離脱しないよう，正しく確実に接続してください。
- 3) 操作つまみ，ダイヤル，スイッチ，タイマーなどが正しく作動するか確認してください。
- 4) 導子を正しく装着してください。

(4) 使用中の注意事項

- 1) 使用中に身体の異常を感じたら，直ちに使用を中止し，医師もしくは弊社〇〇〇〇までご連絡ください。
- 2) 機器に異常又は故障が発見された場合，すぐ使用を中止し，電源を切り弊社〇〇〇〇までご連絡ください
- 3) 低温やけどの恐れがありますので，温度調節が高めの目盛りで長時間使用しないでください。
- 4) 停電のときは直ちに電源を切り，操作つまみ，ダイヤル，スイッチなどを元の位置に戻してください。
- 5) 本体を強制的に折り曲げたり丸めたり，無理な状態にして使用しないでください。

(5) 使用后および保管の注意事項

- 1) 使用後は必ず操作つまみ，ダイヤル，スイッチなどを元の位置に戻した後，電源を切ってください。
- 2) コード類を取り外す場合は，コードを持って引き抜くなどしてコードの接続部に無理な力をかけないでください。
- 3) 本体，付属品などは，次回の使用に支障のないように清浄にし，

- 10) 身体に異常を感じたときには、使用を直ちに中止してください。
- 11) 機器に故障が発見された場合は、使用を直ちに中止してください。
- 12) 停電のときは直ちに電源を切り、操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻してください。

(4) 使用后および保管の注意事項

- 1) 使用後は必ず操作つまみ、ダイヤル、スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。
- 2) コード類を取り外す場合は、コードを持って引き抜くなどしてコードの接続部に無理な力をかけないでください。
- 3) 本体、付属品などは、次回の使用に支障のないように清浄にし、湿気の少ないところに整理、保管してください。

【取扱い上の注意】

- (1) 取扱いを間違えると不具合を生じることがあるので、使用方法、使用上の注意等を厳守してください。
- (2) 消耗品、残留物など、並びに寿命の終わった機器及び付属品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。
- (3) 高温となる部位には直接ふれないでください。
- (4) 燃えやすいものの近くで使用しないでください。

【保守・点検事項】

- (1) しばらく使用しなかった機器を使用するときは、機器が正常に、かつ安全に作動することを確認してください。
- (2) コード類を取外す場合には、コードをもって引抜くなどしてコードの

湿気の少ないところに整理、保管してください。

- 4) お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。
- 5) 長期間使用しない場合は、乾電池を取り外してください。
(乾電池を使用している機種の場合)

(6) 機器の故障及び改造の注意事項

- 1) 機器に故障が発見された場合は、勝手にいじらず、販売店又は弊社〇〇〇〇までご連絡ください
- 2) 改造は絶対にしないでください。
- 3) サービスマン以外の方は、分解したり修理しないでください。
- 4) 消耗品、残留物など、並びに寿命の終わった機器及び付属品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。

【取扱い上の注意】

- (1) 取扱いを間違えると不具合を生じることがあるので、使用方法、使用上の注意を厳守してください。
- (2) 消耗品、残留物など、並びに寿命の終わった機器及び付属品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 常に使用前後の点検を励行し、故障または異常が認められた時には、下記製造販売業者またはお問合せ先に点検（修理）を依

	<p>接続部に無理な力をかけないでください。</p> <p>(3) 本体, 付属品などは, 次回の使用に支障のないように清浄にし, 湿気の少ない所に整理, 保管してください。</p> <p>(4) 機器が故障した場合は, 勝手にいじらず, 販売店又は製造販売元に連絡してください。</p> <p>(5) 機器は, 改造しないでください。</p>	<p>頼ってください。</p> <p>(2) 導子部損傷及び断線などがあるときは使用を中止し, 修理してください。</p> <p>(3) 故障した場合は, 勝手にいじらず, 販売店又は製造販売元に連絡してください。</p> <p>(4) 機器は, 改造しないでください</p>
--	--	--